

東日本大震災の教訓から学ぶ 防災講演会を開催します

今年は6月25日に岩手県沖で発生した地震や、7月28日に発生した熊本地震など、全国各地で大規模な地震が発生しています。



東日本大震災時の石巻市

9月は「防災月間」です。都心南部直下地震のひっ迫性もある中、市民一人一人の防災意識を高めるとともに、地域における防災活動のさらなる充実を図るため、東日本大震災を実際に経験した山田修生氏を講師に招き、防災講演会を開催します。

なお、近年の猛暑を考慮し、例年8月30日から9月5日の「防災週間」に実施していた市総合防災訓練は、11月15日（日）に実施します。

1 日時

9月5日（土）午前10時～11時半

2 会場

クアーズテック秦野カルチャーホール小ホール（秦野市平沢82）

3 講師

やまだ のぶお
宮城県防災指導員 山田 修生 氏
（消防庁「防災意識向上プロジェクト」語り部）

【プロフィール】

平成23年の東日本大震災当時、仙台市若林区で自らも被災しながら、全壊したマンション住民の避難誘導と地域住民の安否確認、避難所の開設・運営を行った。その後、一人暮らし・要配慮者の状況確認と支援活動などに携わる。さらに、被災者生活再建支援員として、被災者の方一人一人に寄り添いながら支援を続けてきた。現在、「災害伝承10年プロジェクト語り部」として、全国各地で実体験をもとに防災講演を行っている。



4 講演内容

- (1) 東日本大震災の体験談
- (2) 自主防災会組織の取り組み
- (3) 秦野市で想定される災害リスク

5 定員

400名（当日先着順）

※途中入・退場可

※来場者には防災食をプレゼント

6 その他

当日は、受付スペースに令和8年熊本地震の被災地を支援するための募金箱を設置するとともに、市が避難所への整備を進めている避難者用テントと避難者用ベッドなどを展示します。

問い合わせ 防災課 電話0463（82）9621